

今週一枚： あの日は遠く 植田を襲った津波 2022年11月14日（福島県いわき市植田）



津波は砂浜から防波堤を乗り越え、国道沿いの部落を飲み込んだ。（画面の上部方向12キロ行けば小名浜港となる）

この地で約1年間暮らしたことがある。
もう40年も前のことである。
すぐ傍の発電所での仕事があり、長期の現地滞在となった。

その時滞在した下宿旅館は海岸沿いにあった。
宿のおばさんは優しく、仕事から帰ったあとの一杯とおいしい夕食は、きつい仕事も忘れさせる至福の時間があった。

この地を離れても宿のおばさんとの年賀状のやりとりは続いた。

ところが2011年3月の東日本大震災発生翌年から、年賀状は途絶えた。
襲った津波はこの地も例外ではなかったのだ。
以来、わだかまるこの地の被害とおばさんの消息。

今回の旅の目的の一つは、この地を訪れ、この目で確かめることにあった。
その宿があった場所に行く。
何の跡形もなく、すっかり更地になり、そのなかに戻ってきた人達の新しい家がポツポツと建つ。
その住民に聞いた。

津波は押し寄せてきたが、全員高台にある森に避難しこの地域からは犠牲者も怪我人もでなかった、と。
おばさんは無事だったのだ。

でも、その後の消息は分からない。
おばさんは、もう90歳は超えておられるはず。
ご存命で元気におられるのだろうか。

そういう私も齢を重ねここに立つ。
あの日は遠く……